けふの休業明に

血眼の戸別訪問

會社側は狩出に職工は結束に

◇住友電線の爭議

住友電線製造所は二十二日を以て臨時休業を終へ二十三日より工場を開くに就き技手及係員百餘名は軟派職工の戸別訪問を爲し復業を勧め居れり一方職工も戸別訪問を爲して結束を固め依然罷工すると二十二日は同職工凡そ千三百名は四貫島小學校の横手空地に集合[illegible]を朗讀し様々の注意を與したる由（大阪電話）

女工の一隊を先頭に翩翻なる示威運動の行列を作り十數流の旗を翻し勞働歌を高唱して練り歩き住友電線、汽車會社、同製鋼所前を通り再び四貫島に歸り十二時解散四貫島町[illegible]方にて點呼を爲し[illegible]其の他の[illegible]を爲す

會社側の臨休に

製鋼職工益結束

飽まで罷業を敢行

住友製鋼所は二十五日より四日間臨時休業に就き職工は結束を固め四貫島[illegible]館に事務所を設け出動[illegible]準備へ附け[illegible]せしめたるに[illegible]部來りたる由斯くて午前十時より朝日橋北詰[illegible]にて[illegible]勞働爭議演説會を開き[illegible]に解散せられたる職工山内松吉[illegible]司會者となり交渉委員全部外に[illegible]友愛會[illegible]組合より來りし應援[illegible]其他の激語あり左の決議文を朗讀し[illegible]（大阪）

住友爭議惡化し

遂に總罷業

鑄物工場の演説會で

會社の横暴を痛撃し

雪崩れ打つて藤永田へ

病院に逃込んだ

組長を渡せと殺到

警官と小競合の結果

軟派十二名を拉致す

【大阪電話】昨二十三日で臨時休業一無く廿三日から正式に[illegible]を終り工場を開いて職工を待つ西區四貫島住友製鋼所の硬派職工は軟派の復職を阻止せんと通路の出入者を監視したので入場者一人も無く[illegible]罷業を斷行する事となつた、同社の女工千三百名臨時休業中の伸銅所職工千九百名其他を合したる一團は同日午前九時から四貫島町大阪鑄物工場跡に集合して大演説會を開き實行委員及び友愛會顧問[illegible]等三十餘名が交々[illegible]會社の[illegible]を痛撃し正午過ぎ解散したが大群衆の一部は南區泉尾町[illegible]王子公園における藤永田造船所の爭議運動會へ雪崩れを打つて行く

横暴を

立番を　して居つた罷業[illegible]職工等の爲に阻止されたるのみならず[illegible]きの憂目に逢はんとして[illegible]ふじて一同は附近の電線所附屬病院に逃込んで免れたが此事を[illegible]聞いた罷業職工大[illegible]へ殺到した[illegible]めて凡そ三百名の職工連は殺氣立つて[illegible]病院へ殺到し右十二人の引渡方を迫つたが朝日橋署の警官と

小競合

を始めたが結局件の十二名は罷工職工事務所に赴き事情を述ぶる事となり悄然として[illegible]行かるに拉致し去られたが右に就き組長側代表者[illegible]名は[illegible]

【大阪電話】二十三日午前十時から市内西區四貫島住友電線所へ入所せんとした同所の職工組長岡田某以下十一名は同所前道路に

職工の氣勢に

驚いて

示威運動を許す

【大阪電話】職工の氣勢漸次險惡になるので市内朝日橋警察署では廿三日擧行すべき住友罷工職工の示威運動を禁止したが職工側は不穩の態を擧げて騒ぐので當局も同署長は警察部長と協議し試驗的に廿四日の示威運動を許す事に内定した

住友製鋼所

四日間休業を宣す

熔鑛爐の火を消して了つて

八八艦隊材料製作不能となる

住友製鋼所の大矢、堤以下十三名の實行委員は二十一日朝から住友總本店に詰掛け山下理事を初め工場製鋼所支配人細矢同副支配人等と會見を求め午後四時過ぎまで會談する所があつたが其[illegible]りを待ち受けて結果を問へば口を緘して語らず唯不調に了つたとのみ語つて急いで住友の自動車に乗り歸買島に[illegible]して疾驅したので直に山下理事に面會を求め其模様を尋ねると同氏は『昨夜から引續いて會見したのですが話はあまり進みません、勿論團體交渉權の[illegible]は不可能で退職手當の件も目下會社側で協議を重ねて居た矢先こんな問題にぶつかつたので要求書の一項にもある日給一圓三十錢以下の職工總てに十五錢の増給の件に對してもし七月の[illegible]に[illegible]さす譯です、兎に角會見の折から製鋼所の方から職工側の不穩の様の通達があつたので急に商談の歩を急がし今委員を自動車で歸した様な譯で製鋼所では熔鑛爐の火も消してしまつたし職工達は盛んに勞働歌を歌つて罷業狀態にある相ですから二十二日から向ふ四日間臨時休業を發表しました、同製鋼所は海軍の八八艦隊の材料を作つて居たものですが熔鑛爐の火を下してしまつては仕事も出來ぬ譯ですがこの事に就いては海軍省もよく諒解して呉れました何れ職工の方も二十三日の模様を見て其後の方策を定める譯ですが今の模様で見ると依然休業を繼續しなければなりますまい』云々

住友の解職手當

改正發表さる

會社側は樂觀して

此際根本整理を行ふ

大阪住友總本店にては電線、製鋼兩工場職工の解職手當増額の件の要求に關し考慮中の所二十三日午後一時左の如く改正發表したるが伸銅所職工も同様改正を爲すと

一、會社の都合に依り解雇の場合、死亡の場合、業務上の負傷にて已む無きものと認め退職を許可したる勤續滿六ヶ月以上四ヶ年の者に日給五十日分滿一ヶ年を越ゆる期間滿一ヶ月に付日給の三日分を増額滿五ヶ年を越ゆる期間滿一ヶ月に付き日給四日分を増額滿十ヶ年を越ゆる期間滿一ヶ月に付き日給五日分を増額

二、自己の都合に依り退職する者にして勤續期間十ヶ年以上の者は第一項の金額病氣等にて已むを無き者と認め退職許可となりたる者にして勤續三ヶ年以上の者は第一項の金額その以外の理由に依り退職するものにして勤續滿三ヶ年以上の者は第一項の三分ノ一

三、前各項以外の者並に懲戒處分に依り解雇の場合は[illegible]臨時[illegible]て期間を定めず雇入れたる者には前各項を適用せず右に付き山下理事は曰く「電線職工は不穩分子から種々な脅威がある爲廿三日從業者は少いが既に各自の復業通知書が續々出來て居るから其內には樂觀して漸次復業するのを待つてゐる通知が出さぬ職工は隨意退職として此際根本的に整理を行ふ心算である」（大阪電話）

裏切職工

住友電線爭議

けふ示威運動

住友電線製造所は二十三日は五十八名の職長中二名と外に二名の出勤者ありたるのみにて職長其他を以て組織する約五十八名は一旦從業員に加盟したるも罷工團實行委員の主義と合はざるを以て行動を共にする能はずとて罷工團に反對の聲明をなし居れるが二十三日午前十時頃同所員は職工を

▲戸別訪問　を爲して十一人の裏切職工を得之を會社に同行の途中罷工團が發見したるより本部にありし約五六百名の職工押寄せ右十一人を本部に連れ行かんとし朝日橋署よりは巡査多數を

住友電線の職工

隨所に小競合

休業明の出勤者を途中に阻んで

會社の切崩し結局無効

住友電線製造所では休業明けの廿三日早朝から職工の出勤を待つたが出勤者は僅に組長會の職工四名に過ぎなかつたのも會社側の切崩し運動も相當効果があつたらしく從業の職工は

出勤の目的　で夫々自宅を出發したが途中[illegible]の罷業職工の委員に阻まれ之を[illegible]して演説會場に赴き或は歸宅した一方神島方面から通勤する職工は恩貴島町

住友病院に集合會社の自動車で工場に送り込まれる筈であつたのが罷業職工が發見し

演説會場に　急報した爲め同所から總勢凡そ四百名が病院に驅付け門下で一時不穩の形勢を示したが朝日橋署員の制止により同病院に集まつて居る出勤職工中職長外十名を罷工本部に連行詰問する事となり一同は無事演説會場に引揚げた其他

會社の門前　及び安治川口驛頭に於ても罷業職工と出勤職工との小競合ひが演ぜられた爲會社側は引續き職工の出勤を勸誘し休業などの際には出ないと言つて居る（廿三日、大阪發）

組長會も

切崩さる

職工側に詫狀を取らる

聞され詫狀を職工に差出したので組長會の結束は全く崩れて了つた（廿三日、大阪發）

製鋼所側も

聯合して

住友の職工大會

爭議中の大阪住友製鋼所同電線製造所の職工は廿三日午前七時西區四貫島小學校前の廣場に集まり例により出動者に際し引續き四貫島大阪鑄物會社工場に[illegible]込み同所にて聯合大演説會を開いた總罷業約四千人友愛會製鋼所實行委員及電線所實行委員其他、友愛會顧問[illegible]十等交々熱辯を揮ひ正午過ぎ漸く解散した（廿三日、大阪發）

團體交渉權を

獲得せねば止まぬ

住友電線製鋼の委員連敦圍く

大阪住友電線製造所職工組長會は平職工側に反對して立つ事を聲明したが廿三日朝出勤せんとした際組長會の西島、岡崎、上田、近藤外數名は職工側の警戒委員に發見

休業日數の切れた電線所

愈々總罷業に入る

千五百の女工を先頭に立て

二十二日は腰辨當で示威行列

臨時休業日數も本一日で終る廿一日住友電線所の職工側は一時出勤して窓與を縮けると云ふ説もあつたが事實は全然罷業を開始すべく二十二日二回目の大示威行列を擧行する筈で少々の雨は衝いても決行すると實行委員は語つて居る其順路は

四貫島小學校前の廣場に全部參集し朝日橋から四貫島川の西岸に沿ひ汽車會社製鋼所の前を通過して三本松に至りそれより電線所前に歸り市傳法川を傳つて…[illegible]再び出發點に[illegible]解散當日は全部腰辨當で例により二百の女工を先頭に一千五百人の大示威行列を見るであらう尚同夜勞働演説大會を開催すべく目下其會場の交渉中であると

住友電線製造所兩工場の職工等は會社に退職手當の原案を發表すれば他の諸件は讓歩の餘地があるらしい口吻を洩らして居たが最近睦永田造船所の爭議が不徹底乍ら樹際交渉權の名目を容認させたのに刺戟され兩工場の實行委員等は團體交渉權を獲得せねば斷然讓歩せぬことに傾いて居る福住友總本店に於て職工の退職手當に關する改正規則を發表すると共に實行委員三名を招き種山支配人から改正規則を詳細に說明して承認を求めたが委員等は一應の意見で回答もし難き旨を述べて引取つた（廿三日、大阪發）

住友では

手當増額

罷業繼續中

職工に通信したが團體權問題で未だ

目下爭議中の住友電線製鋼兩工場職工に依り提出された幾多の要求案中手當問題に對し會社は廿三日午後二時手當變更方を職工に通知したそれに依ると手當若干宛の増額だが團體交渉權が認められぬ爲め罷工は相變らず續けられる筈である（大阪電話）